



## 山行報告書

山名：焼岳 2455m (長野県松本市・岐阜県高山市)

入山日：平成 29年8月24日(木)～8月25日(金) 1泊2日 メンバー・報告者：岩田



## 第一日目

8月24日(木)  
曇

【電車・バス・ロープウェイ】6:18 岩槻⇒6:30 大宮 6:42⇒(かがやき 501号)⇒7:38 長野 7:51⇒9:04 松本 9:55 バス⇒11:20 平湯温泉 11:40 バス⇒12:05 新穂高ロープウェイ 12:30 ●●●●● 12:55 西穂高口

13:25 西穂高口 標高 2156m → 14:35 西穂山荘(泊) 2370m  
18:00 夕食 宿泊者約 60人 テント 4張り  
☎0263-95-2506・080-6996-2455(松本 0263-36-7052)

行動時間：1時間10分

## 第二日目

8月25日(金)  
雨

6:00 朝食約 30人 7:22 西穂山荘 2370m → 10:25～11:00 新中尾峠・焼岳小屋 2090m → 13:10～14:45 上高地温泉ホテル 1505m 入浴

行動時間：5時間50分

【バス】15:50 上高地バスターミナル さわやか信州号⇒21:37 大宮駅西口(予定時刻より13分早く到着)

個人装備：ヘッドランプ、雨具、手袋、防寒衣、ザックカバー、地図、GPS、無線機 ID-51、ストック、ツェルト、アルミシート、熊鈴、笛、虫除けネット、ヘルメット

特記事項：平成 29年8月17日(木曜日)16時30分、気象庁から焼岳 火山の状況に関する解説情報(臨時)第5号が出された。

(気象庁発表)

平成 29年8月10日に噴気が観測された山頂の西側の火口及び周辺では、11日以降、噴気は観測されておらず、火山性地震も少ない状態で経過しています。地殻変動等、その他の観測データにも特段の変化は認められません。また、従来からみられている場所の噴気活動にも変化は認められません。

以上のように、現時点で火山活動が活発化する様子は認められません。

山頂付近では噴気や火山ガスの噴出に注意してください。登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

10日の噴気に伴い発表していた火山の状況に関する解説情報(臨時)はこれで終了します。今後は火山活動の状況に変化があった場合にお知らせします。

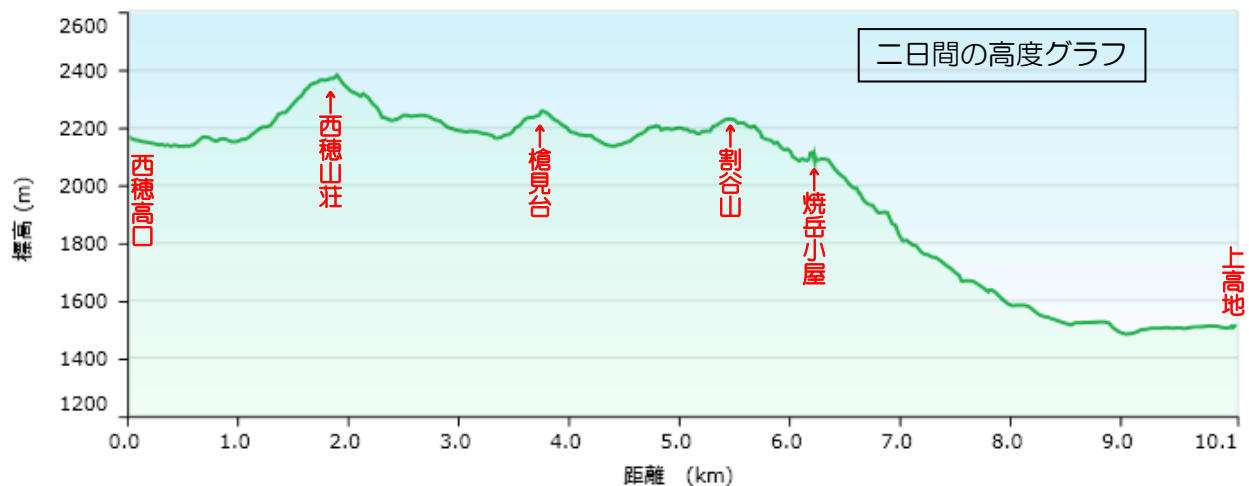
噴火予報(噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)が継続しています。

**感想：** 一日目は西穂山荘に宿泊した。夕食時、山荘の支配人より、明日の天気は低気圧からのびる前線が通過するので、雨が降り風も強まるだろう。前線通過時は雷雨も起こりやすいと話があった。真夜中に、話通り強風がすごい音を立て天候が悪化してきた。

二日目、朝からどんよりとした曇り空で、出発しもなく雨が降り出した。それでも焼岳小屋に着くころには雨は上がるだろうと期待をもって歩いたが、三時間後焼岳小屋に着いても雨は止まず。小屋に雨宿りしている登山者達もこの先どうしようかと思案中の様子。小屋の人に相談すると、先ほどまで強い風が吹いていた。この雨では特にピークにこだわらないならピークをめざさず安全なルートの上高地へ下りた方がよいだろうとアドバイスあり。結局、予定していた焼岳頂上を越えて中の湯へ下山するコースはまだ五時間ほどかかり、また雨で体が冷えてきたので、予定を変更し二時間で下れる上高地へ下山することにした。途中、遠くに雷鳴が聞こえた。

無事上高地に到着し、田代橋近くの上高地温泉ホテルで入浴した。ここは自家源泉かけ流しの温泉で、露天風呂よし、樽風呂よし、いい湯加減でゆったりとできた。日帰り入浴時間は 12 時 30 分から 15 時までで、800 円也。今回の山行では登頂こそできなかったが、この温泉で大満足だった。

上高地バスターミナルからは 15 時 50 分発大宮行き的高速バスさわやか信州号の空席があったので、このバスで帰った。乗車時間は六時間で、途中姨捨、横川、高坂の各 SA で休憩タイムがあった。さわやか信州号は 7 月 15 日から 8 月 27 日まで毎日運行。



## 統計

### 概要

ポイント: 334 距離: 10.1 km 区域: 3.1 sq km

### 時刻

経過時間: 23:48:30 移動時間: 4:50:25 停止時間: 18:58:05

### スピード

平均: 0.4 km/h 移動の平均値: 2.1 km/h 最小: 0.0 km/h 最大: 6 km/h

### 標高

最小: 1483 m 最大: 2384 m 上り: 583 m 下り: 1237 m 勾配: -6.5 %

以上